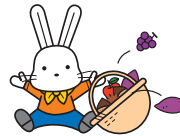




今回の主な内容

- 市政を問う代表質問…………… 2
- ここが聞きたい一般質問…………… 4
- 常任委員会・決算特別委員会… 6
- 議決結果ほか…………… 8
- 各種検討会などの設置…………… 9
- 特別委員会の設置…………… 10



9月定例会議を開きました〈9月2日～24日(23日間)〉

9月2日開会

本会議

- ・ 市長から議案27件、報告7件を提出後、議案についての提案理由を説明
- ・ 先議議案の審査、討論、採決(期間中追加議案5件)

9月6日・9日

本会議 (代表質問)

各会派の代表6人が登壇し、施政方針・市政運営に関して質疑応答

2～3ページ

9月9日～11日

本会議 (一般質問)

10人が登壇し、議案や市政の諸課題に関して質疑応答

4～5ページ

9月12日～13日

常任委員会

議案や陳情を審査

9月11日・17～19日

決算特別委員会

平成30年度の決算を審査

6～7ページ

9月24日閉会

本会議

- ・ 各委員長から審査の経過と結果の報告後、討論、採決
- ・ 特別委員会設置
- ・ 選挙管理委員および補充員の選挙

8・10ページ

議会トピックス

6月と9月定例会議の報告を中心に 令和元年 秋季 議会報告会・意見交換会を開催します

11/12 (火)	午後1時30分～午後3時 西支所	11/13 (水)	午後6時30分～午後8時 北信学習センター
11/14 (木)	午後6時30分～午後8時 もちずり学習センター	11/15 (金)	午後6時～午後7時30分 杉妻支所

意見交換会では、皆様の様々な声をお聴きします。申込み不要、入場無料です。

5月に開催した春季議会報告会・意見交換会の様子



定例会議初日に 議案を先議

「議案第96号福島市子育てのための施設等利用給付の対象となる認可外保育施設の基準を定める条例制定の件」

周知期間を設ける必要があるため緊急を要する議案として先に審議を行いました。

議案に関する質疑、所管する委員会による審査、討論などを経て同日、原案可決しました。



詳しくはQRコードをご覧ください

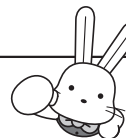


市政を問う!

代表質問

議員の一般選挙後に初めて開催した9月定例会議では、各会派を代表する6人の議員が会派の理念を表明し、政策的な議論を行いました。

代表質問の中から、質問および答弁の要旨を1件、その他の質問を項目のみ4件掲載しています。



真結の会



基本計画の着実な

実現への取り組み

鈴木 正実

Q 福島市総合計画後期基本計画の実現のために示された第4次実施計画における重要課題と優先順位、取り組みは。

A 元気あふれる福島市の新ステージに向けた取り組みを推進している。家庭総合支援拠点事業などによる子育て環境の一層の充実や除染除去土壌の搬出による市民生活の安全安心の確保、道の駅整備事業や東京2020大会を契機と



したまちづくりのグレードアップ、まちづくり構想による歴史・文化と次世代環境が調和したまちづくりを着実に推進する。

その他の主な質問

- ① 聖火リレーの受け入れ体制や歓迎セレモニーの計画、野球・ソフトボール競技の開催準備や合宿誘致、市民による受け入れ体制の整備
- ② 新規就農者の推移と分析、農家人口の現状、農業の担い手育成と確保の見通し
- ③ 待機児童と放課後児童クラブの現状と待機解消への取り組み
- ④ まちづくり事業の進捗よくと今後の見通し



真政会



風格ある県都を目指す

まちづくり構想の実現に向けた財政運営

白川 敏明

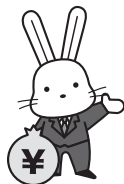
Q 令和5年度までの中期財政収支見通しにおける財政調整基金マイナスへの対応は。

A 今後、駅前再開発や公共施設の再編整備およびバリアフリー化、待機児童対策や学校環境整備さらには地域振興施設の整備などさま

ざまな面で急を要する事業が山積している。

厳しい財政運営が予測される中、先送りせず着実に事業を実施するとともに、健全な財政運営を目指して行かなければならない。

そのため、これまで以上に行政経費の節減、合理化や既存事務事業の見直しによる財源の捻出に加え、自主財源の確保や有利な市債の活用を図りながら、職員の財源確保に対する意識を高め、中長期的な視点に立った歳入の涵養につながる経済活性化策の展開などにより健全な財政運営に努める。



その他の主な質問

- ① 今後の連携中核都市圏の構想を含めた広域連携のあり方
- ② 公共施設整備の方向性を含めた市としての見解
- ③ 河川の雑草木の除去など、河川環境の今後の整備方針
- ④ 連続テレビ小説で取り上げられた人物・場所などを本市の歴史として残し、観光振興にも活用



市民21



福島市総合計画と

自治振興協議会

高木 克尚

Q 次期総合計画の策定段階において、地域のまちづくりに取り組む中心的組織としての役割を担っている自治振興協議会との関わりは。

A 自治振興協議会は、市民との協働のまちづくりを進める上で、中心的な役割を担う重要な組織であるため、ふくしま新ステージ有識者懇談会委員に自治振興協議会連合会長にも就任いただき、大所高所の視点で活発な議論をいただいている。また、現計画は、各地区の自治振興協議会が主体となり策定した地域の個性を生かしたまちづくり計画により、地域の取り組みを進めているところであり、次期総合計画においても、そのような取り組みを継続し、さらなる市民との協働のまちづくりの充実を図る。



その他の主な質問

- ① 道の駅整備後の農業振興の果たすべき役割と次期総合計画への継承
- ② 農業の担い手確保や気候変動対策への事業の成果・課題・対応そして次期計画への継承としての農業施策の位置づけ
- ③ 分野毎個別計画ではない基幹産業との連携と次期総合計画への盛り込み方針
- ④ 福島大学食農学類



公明党



女性の就労支援と 雇用環境の充実

後藤 善次
ごとう ぜんじ

Q 女性の就労支援、雇用環境の充実に向けての意識づくりや環境づくりの取り組みは。

A 社会経済の活力を持続発展させるには、女性が働きやすい職場環境を整備することが、全ての人にとって働きやすい環境につながるものと考えている。

女性活躍・働き方改革推進事業による、再就職に必要な知識とスキルの習得や、働く女性応援企業認証事業による職場環境づくりの普及啓発を引き続き行う。

また、女性の進出が少ない業種の関係団体にも、仕事と子育て、家庭生活の両立など女性が働きやすく、より活躍できる職場環境づくりの要請活動により、雇用環境づくりの普及啓発に努める。

その他の主な質問

- ① 企業誘致のための新たな工業団地整備
- ② 防災・減災に向けた社会インフラの老朽化対策の推進
- ③ 公共交通の再編、地域協



- 働による持続可能な交通網の確保
- ④ 下水道区域の見直しと合併浄化槽の普及

日本共産党



幼児教育・保育の 完全無償化

村山 国子
むらやま くにこ

Q 政府は、消費税10%増税は、幼児教育・保育の完全無償化の財源と広報していたが、年収360万円以上の世帯は、おかずや、おやつなどの副食費を徴収されることになり、また、2年目以降は自治体の負担も発生してくることへの見解は。

A 現行制度においても、保育料に含めて副食費を徴収しており、在宅で子育てをする場合でも生じる費用であること、義務教育における学校給食や、他の社会保障分野の食事も自己負担されていることを踏まえ徴収するものである。副食費を除いた保育料のみを無償化するというのが国の考え方である。

その他の主な質問

- ① 市民が命の危険にさらされる恐れのある憲法改悪に反対すべき
- ② 無秩序なメガソーラー開発を抑制



- するための条例を制定すべき
- ③ 国が実施するまで市が独自に副食費の全世帯無償化を実施すべき
- ④ 高齢化社会に即して郵便投票ができる条件の緩和を国に求めるべき

社民党・護憲連合



福島市人口ビジョンに
おける人口推移
羽田 房男
はねだ ふさお

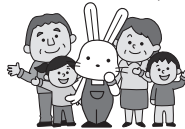
Q 福島市総合戦略の重要な基礎資料である福島市人口ビジョンにおける人口推移の将来展望は。

A 今年4月1日現在の推計人口は286,295人で人口ビジョン推計人口の公表値である2020年の推計値よりもやや上回っている。

しかし、住民基本台帳人口の減少率と比較するとほぼ同率、またはそれ以上の減少率であり、今後さらに減少率が大きくなるのが危惧されることから、引き続き、人口減少対策と地域活性化の各種施策により一層取り組まなければならない。

その他の主な質問

- ① 人口減少に対する積極戦略と調整戦略を同時に推進するための施策
- ② 子どもの居場所づくりバックアップ本部が開催した学習会と相談事業の回数および内容



- ③ 色覚バリアフリー推進のための案内表示などの整備状況
- ④ 児童生徒の携帯品の量および重量の具体的調査の実施状況



市議会だより 200号記念展示を行いました

9月定例会議期間中に、福島市の歴史年表とともに、過去200号すべての市議会だよりの表紙および常任委員会の構成ページを展示いたしました。

傍聴者を含め、多くの市民の方にご覧いただきました。ご来場ありがとうございました。



あなたの写真が市議会だよりの表紙に!?

【インスタグラム】

わくわくする福島市の写真は#wakufukuで!

今回の表紙写真のように#wakufukuの中から市議会だよりの表紙に使用させていただきます。ぜひご投稿ください。

#wakufukuとは?

わくわくする福島市の写真をインスタグラムに投稿してほしい!そんな願いから生まれたハッシュタグです。

詳しくはこちらをご覧ください



ここが聞きたい

一般質問Q&A



一般質問とは？

議員が、市民の皆さんの生活にかかわる身近な市政の課題に対して質問を行い、市当局はそれぞれの質問に対して考え方を答えます。その中から質問および答弁の要旨を1件掲載しています。

行財政



G空間防災システムの導入・利活用
根本 雅昭

Q G空間防災システム(注1)を活用している事例が存在するが、本市の見解は。

A G空間技術を活用した防災システムは、総務省が現在、関係機関などと連携してプロジェクトを推進中である。

このシステムを活用し、災害時に被害情報を的確に把握する仕組みを構築することは、安否確認や避難誘導支援にもつながるが、現在は民間企業や大学などで実証事業を行っている段階のため動向を注視する。

(注1)

G空間防災システムとは？

地震・津波などによる広域災害や緊急性を要する大規模災害に対して、G空間情報(地理空間情報)とICTを連携させて構築する先進的な防災システムのことです。



くらし・安全



障がいのある方への選挙における投票支援
小野 京子

Q 平成26年度の障がい者代表と市長との懇談会で、投票支援について市に提案があったが、その後の対応状況は。

A 市内の投票所は、期日前投票所9カ所、当日投票所は81カ所あり、障がい者対応専門の職員の配置は困難である。

自書出来ない方は、代理投票補助者が本人の意思を確認し代理記載する制度があるが、言葉で意思を伝えることが困難な方は、選挙公報などを活用し投票者の意思を確認する方法で対応している。また、平成28年から30年に養護学校において、模擬選挙の体験を行っており、今後も選挙への理解を深めていただくとともに、代理投票制度などの周知、投票所係員の対応力向上に努める。

産業・経済

農業経営開始支援事業の予算措置



佐々木 優

Q 農業経営開始支援事業の補正予算を組むべきでは。

A 農業経営開始支援事業は、国の就農支援制度に該当しない親元就農をはじめとする多様な就農を支援対象としており、支援期間を最長2年間としていることから、次年度以降も事業を継続し担い手の確保・育成に努める。

なお、当該事業の補正予算は、今年度が事業初年度であることから、後年度負担にも関わることから、農業就業拡大推進事業を構成する3事業について、まずは、効果や事業規模などの検証が必要であると考える。



萩原 太郎

農地購入の要件緩和

Q 農地の購入は50aを基本としますが、地方自治体の実情に合わせて変更することができ、本市は40aとしている。さらに要件を緩和することで農地の利用が促進されると考えるが。

A 本市では、農地の権利取得のための下限積要件を40aと定めている。この要件の緩和により新規就農が促進され、遊休農地の解消につながることも考えられるため、現在、下限積要件の緩和内容や条件など、具体的に検討しているところである。



プレミアム付き商品券の購入促進と参加店舗の拡大
川又 康彦

Q プレミアム付き商品券の購入促進および参加店舗の拡大の方法と課題は。

A 市政だよりやホームページを活用し周知を図っているが、利用者が商品券を購入する必要がある、給付との違いに理解を得られない場合が多くある。利用者に対しては、1セット5千円単位の商品券を5回に分けて購入できることや、商品券の利用方法を案内する。

また、参加店舗の増加対策としては、店舗へ直接訪問し、勧誘を行っている。資金繰りが現金を中心にしている場合、事業者側の会計管理を追加で行う必要があるため、難色を示す事業主もあるが、引き続き参加店舗の拡大に努力する。



福祉・健康



動物愛護事業の拡大に向けた
ふるさと納税などの活用
一階堂 利枝

Q 全国のモデル的な動物愛護センター設置などに向け、ふるさと納税やクラウドファンディング(注2)などを活用すべきでは。

A ふるさと納税の見直しを図りたいと考えている。その際、動物愛護に関して応援したいという気持ちをお持ちの方が応援できて、それが本市の動物愛護の施策の推進につながるような仕掛けも考える。

(注2)

クラウドファンディングとは？
インターネットのサイトでやりたいことを発表し、賛同してくれた人から広く資金を集める仕組みです。



誰もが住みやすい
まちづくり
梅津 一匡

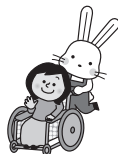
Q (仮称)障がいのある人もない人も共にいきいきと暮らせる福島市づくり条例の制定に向けた取り組みとスケジュールは。

A (仮称)障がいのある人もない人も共にいきいきと暮ら

せる福島市づくり条例は、障がいのある人もない人もお互いに人格と個性を尊重し合い、安全で安心して暮らせる共生社会の実現のための施策を推進することを目的とする。

福島市障がい者地域生活支援協議会などと協議を重ねるとともに、8月22日には障がいのある方およびその家族、支援者など約50名にご参加いただき共生社会の実現に向けたバリアフリーをテーマに意見交換会を開催した。

今後、これらの意見を踏まえた条例骨子案を作成し、11月にパブリックコメントを実施した上で、令和2年3月定例会議に本条例案を上程し、令和2年4月1日施行を目指す。



健康づくりへの
政策と取り組み
佐原 真紀

Q 健康づくりを目指し今後どのような政策と取り組みを推進していくのか。

A 市民総ぐるみで健康づくり運動を推進するため、一人ひとりの健康を応援する環境づくり、地域の健康づくり、職場の健康づくりを3本柱とした健都ふくしま創造事業を実施している。

8月28日に、健都ふくしま創造市民会議を開催して行った健都ふくしま創造宣言に基づき、構成団体である、保健、医療機関、教育機関、経済団体、地域の各団体にそれぞれの立場で健康づくりに取り組み、情報発信をしていただきたいと考えている。

また健康づくり推進協議会や食育、歯と口腔の健康づくり、受動喫煙防止対策、職場の健康づくりの各推進委員会において検討された環境づくりの具体的な提案を施策の充実に生かしていく。



まちづくり



市街化調整区域における
土地の活用
阿部 亨

Q 民間事業者への情報提供と情報の交換などの協議を行い、市街化調整区域における地区計画に関する運用基準を用い、土地の活用を推進すべきでは。

A 市街化調整区域における地区計画は、課題はあるが、郊外部における地域コミュニティの維持・再生を図る一つの有効な手法と考える。
民間事業者などに対してはホームページで地区計画の状況や運用

基準を示し、地域の方々が民間事業者を選定する際には、相談できる複数の業界団体を紹介するなど情報提供を図りながら、宅地の需要と供給のバランスや自然環境の保全と農林業との調和の中で、適正な土地利用の誘導による、地域活力の向上を図られるよう努める。

教育・文化



学校給食費の無償化
山田 裕

Q 県内32の自治体で給食費の全額補助や半額補助を行い、広がってきている。学校給食費の無償化に踏み出すべきでは。

A 給食費は、学校給食法第11条により、学校給食の実施に必要な施設および設備に要する経費並びに学校給食の運営に要する経費は、設置者の負担とされており、これ以外に要する経費は、学校給食を受ける児童または生徒の保護者の負担とされていることから、食料費に要する経費は、保護者が負担するべきものと考えている。今後、市民ニーズに対応したより実効性のある子育て支援策について、学校給食費を含め総合的に検討を進める。



常任委員会・決算特別委員会分科会

※各常任委員会および各分科会に付託された議案審査並びに決算審査の主な内容を紹介します。

総務

◆議案審査

財産取得の件（高規格救急自動車・清水救急2）

県営あづま球場で行われる東京2020オリンピックのソフトボール、野球競技の3日間の開催期間において、救急車3台を常時配備する必要があることから、福島消防署清水分署の救急車を1年前倒しして更新する。

それにより旧車両を救護用車両として配備することが可能となるものである。

◆決算審査

東京2020オリンピック・パラリンピック開催関連事業費

野球・ソフトボール競技の開催に向けた準備や女子ソフトボール日本代表、U-25女子車いすバスケットボール日本代表などの合宿誘致、2020ふくしま市民応援団の創設など本市のスポーツ振興および共生社会の実現などのために実施した。



2020ふくしま市民応援団による福島駅周辺美化活動

文教福祉

◆議案審査

幼児教育・保育無償化関連事業費

10月から開始の幼児教育・保育の無償化制度の実施にともない施設等利用者の負担額相当を国、県および市が一定の負担割合による財源措置を行い、適切な事業実施に向けた人員確保などを行う。

◆決算審査

待機児童解消促進事業費

福島市待機児童対策緊急パッケージに基づき、保育の受け皿の拡大と保育士の確保を柱とした対策を進めてきた結果、市立認定こども園を3園開設したほか、保育施設を7カ所整備し、312名の保育定員の拡大を図った。

認可保育施設へ就労する保育士への就労支援、保育士の相談窓口の開設、就職・就労に関するイベントの広報などにより保育士の確保を行った。



経済民生

◆議案審査

古閑裕而を活かしたまちづくり事業費

古閑裕而氏と福島市の魅力を広く市内外へ発信するため、古閑裕而記念館の企画展示をリニューアルするとともに、その妻金子氏の故郷である愛知県豊橋市との都市間交流事業を展開する。

また、連続テレビ小説の放映開始に合わせ、NHKの番組情報誌に広告を掲載する。



◆決算審査

福島体育館再整備事業費

福島市体育館・武道場の再整備として、平成28年度から3カ年継続事業の工事を実施した。

ネーミングライツ導入により愛称をNCVふくしまアリーナとして、昨年10月21日に再オープンし、平成30年度は38,690名の利用があった。



NCVふくしまアリーナ

建設水道

◆議案審査

未就学児緊急安全対策事業費

未就学児が日常的に集団で移動する経路などの安全点検を国・県・警察・施設管理者および本市が合同で実施した結果に基づき、緊急に安全対策が必要な交差点への防護柵や車止めの設置、路側帯のカラー化やイメージ狭窄の設置など施設整備を行う。



合同安全点検の様子

◆決算審査

街路灯LED化推進事業費

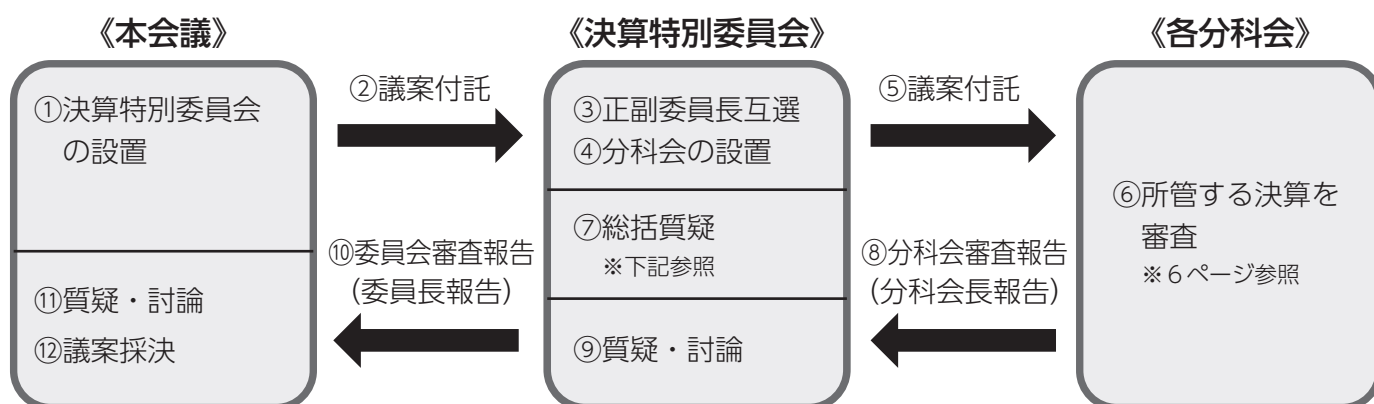
原子力に依存しない社会づくりや地球環境保全のため、既設街路灯の一部をLED灯に交換し、省エネルギー化と省資源化を推進した。

平成25年度より毎年度1,000灯ずつ既設街路灯のLED化を進めてきた結果、平成31年3月31日現在で既設街路灯18,873灯中8,103灯のLED化が完了（LED化率42.9%）した。

平成30年度の決算を審査～決算特別委員会～

議長および監査委員2名を除く32名の議員で構成する決算特別委員会を設置し、4つの常任委員会（総務、文教福祉、経済民生、建設水道）を単位とする各分科会において、平成30年度の決算を審査しました。

決算審査の流れ



総括質疑の主な内容



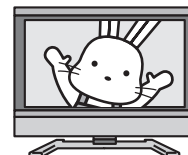
決算特別委員会の全体会では、次の3人の委員が質疑を行いました。

さいとう まさおみ
齋藤 正臣委員

Q ふくしまプロモーション事業で、最優秀作品以外の作品はどのように取り扱っているのか？

A 全作品を福島駅前のミュージル・ヴィジョン(注3)で1カ月間放映し、市民や本市に訪れた方々に見ていただいた。また、市外での本市PR活動、ホームページ、SNSやYouTube、市役所1階のデジタルサイネージ(電子看板)、会議の前に放映するなど、本市の魅力発信として活用している。

(注3) 旧中合2番館壁面(= MURAL)に投影しているヴィジョン

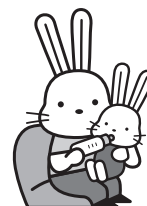


おおひら ひろと
大平 洋人委員

Q 子育て世帯応援に係る手当について、その目的に対しての成果を含め政策の評価は？

A 子育て世帯の経済的負担の軽減と子どもを産み育てやすい環境の整備を図ることを目的として支給しているが、用途については把握できていないことから、目的に見合った効果の検証は困難である。

今後は、新たな福島市子ども子育て支援事業計画策定作業の中で、手当のあり方も含めて総合的に検討していく。



いしやま なみえ
石山 波恵委員

Q 防火パトロール特別対策費中、防火パトロール特別対策助成金で、不用額が発生した理由は？

A 放火または放火の疑いによる火災が短期的に連続的に多発した場合に、市内全域または対策強化地域で不審火防止特別対策として消防団が実施する防火パトロールに対し、また、年間を通し、これと同等と認められる活動があった方面隊に対し助成しており、平成30年度は不審火防止特別対策を実施する事態がなかったため。





9月定例会議で決まったこと

～議案等の議決結果～



QRコードから、各議案の概要をご覧ください。

〔市長提出議案／30件〕

区 分	件 名	議決結果
令和元年度 補正予算案	福島市一般会計、福島市介護保険事業費特別会計	○
平成30年度 決算案件	福島市各会計歳入歳出決算認定	○
	福島市水道事業会計決算認定及び剰余金処分	
	福島市下水道事業会計決算認定及び剰余金処分	
条例制定案	福島市農業集落排水事業会計決算認定	○
	子ども・子育て支援法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	
	福島市子育てのための施設等利用給付の対象となる認可外保育施設の基準を定める条例	
	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	
	福島市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例	
条例改正案	福島市語学指導等を行う外国青年の報酬、勤務時間その他の勤務条件に関する条例	○
	福島市手数料条例	
	福島市立学校条例	
	福島市印鑑の登録及び証明に関する条例	
	福島市子ども発達支援センター条例	
	福島市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例及び福島市幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例	
	福島市災害弔慰金の支給等に関する条例	
	福島市専用水道に係る水道技術管理者の資格基準に関する条例	
	福島市都市公園条例	
福島市水道条例		
人事案件	教育委員会教育長任命(古関明善氏)	○
	監査委員選任(遠藤和男氏)	
	人権擁護委員候補者推薦(本間浩一郎氏)	
その他	和解(福島市営住宅に係る債務不存在確認請求事件)	○
	市道路線の認定	
	工事請負契約(写真美術館再整備工事(建築本体))	
	工事請負契約の一部変更	
	・福島大笹生 I C 周辺地区工業団地(仮称)造成工事	
	・福島市一般廃棄物新最終処分場建設に係る搬入道路新設工事(I期工事)	
財産取得	○	
・高規格救急自動車(清水救急2)		
・高規格救急自動車(杉妻救急1)		

〔委員会、議員提出議案／2件〕

区 分	件 名	議決結果
意見書案	家庭教育支援法の制定を求める意見書	○
	地方財政の充実・強化を求める意見書	○

〔請願・陳情／2件〕

区 分	件 名	議決結果
陳情	幼児教育・保育の無償化の実施に伴う認可外保育施設等への対応に関することについて	○
	幼児教育・保育の無償化の実施に伴う給食食材費に関することについて	×

〔選挙管理委員および補充員の選挙結果〕

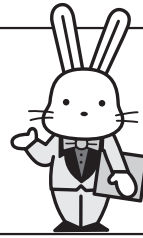
委員	齋藤信行氏、小熊敬子氏、佐藤直行氏、菅野真紀子氏
補充員	渡邊香代子氏、横裕康氏、安倍誠一氏、鈴木純子氏

※議決結果欄

○→原案可決、同意、認定、採択 ×→原案否決、不同意、不認定、不採択



議会改革を推進するため 各種検討会を設置しました



政務活動費検討会

政務活動費のあり方および検討が必要な諸課題について検討を行います。

座長

尾形 武（真結の会）

副座長

石原洋三郎（市民21）

委員

斎藤 正臣（真結の会）

萩原 太郎（真政会）

丹治 誠（公明党）

小熊 省三（日本共産党）

梅津 一匡（社民党・護憲連合）

広報委員会

市議会だよりや市議会ホームページなど議会広報の充実に関する協議を行います。

委員長

尾形 武（真結の会）

副委員長

沢井 和宏（社民党・護憲連合）

委員

根本 雅昭（真結の会）

二階堂利枝（真政会）

佐原 真紀（市民21）

高木 直人（公明党）

山田 裕（日本共産党）

議会改革検討会

議会改革を推進するための諸課題の検討および議会基本条例施行状況について確認、検討を行います。

座長

尾形 武（真結の会）

副座長

小野 京子（公明党）

委員

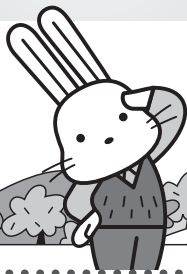
真田 広志（真結の会）

小松 良行（真政会）

石原洋三郎（市民21）

佐々木 優（日本共産党）

羽田 房男（社民党・護憲連合）



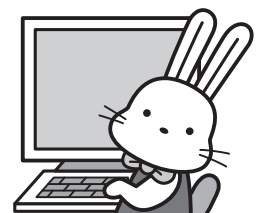
市政概要を市議会ホームページに掲載しています！

福島市議会事務局では、議員の議会活動に資するため、福島市の市政全般にわたる情報をまとめた「市政概要」を毎年作成しております。

福島市の沿革や市域の変遷、子育て推進事業から水道事業まで市民の皆様の生活に関わるさまざまな事業の取り組みや実績などを体系的にご覧いただけます。

市民の皆様は、市政の現状をご理解いただく上で今年度分より、市議会ホームページに掲載しておりますので、ぜひお役立てください。

こちらから
ご覧ください。



新庁舎西棟建設調査特別委員会

9月24日に開催された本会議において、新庁舎西棟建設調査特別委員会を設置しました

■特別委員会の委員構成

当特別委員会は、次の11名の委員により構成しています。

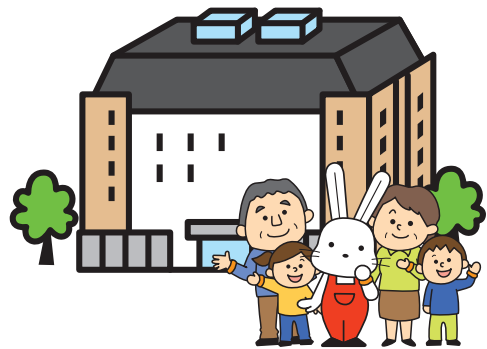
- ◎委員長 後藤 善次（公明党）
- 副委員長 阿部 亨（真結の会）
- 委員 佐原 真紀（市民21）
- 二階堂利枝（真政会）
- 萩原 太郎（真政会）
- 鈴木 正実（真結の会）
- 羽田 房男（社民党・護憲連合）
- 高木 克尚（市民21）
- 小松 良行（真政会）
- 村山 国子（日本共産党）
- 真田 広志（真結の会）

■調査目的

風格ある県都を目指すまちづくり構想における福島市役所新庁舎西棟の建設にかかる調査を行う

■調査事項

- ①持続可能な庁舎に関する調査
- ②所管する議案審査



(((本会議の映像を)))
ネット配信しています

代表質問や一般質問など本会議の録画映像をインターネットで配信しています。

議会ホームページのトップ画面「議会中継」または下記のQRコードをお読み取りください。



12月定例会議予定

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
	本会議 (定例日)		休会 (議案調査)		本会議 (一般質問)	
8	9	10	11	12	13	14
	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問) 議会運営委員会	本会議 (一般質問)	常任委員会 議会運営委員会	常任委員会	
15	16	17	18	19	20	21
	休会 (事務整理)	議会運営委員会 本会議 (採決等)				

- ◆本会議、委員会は、午前10時から開会予定です。
- ◆12月定例会議で審査する請願・陳情の締め切りは、12月3日(火)午前11時です。
- ◆日程、開会時間は変更になる場合があります。
詳しくは、議会事務局(☎525-3776)までお問い合わせください。

◆市議会広報に関するご意見をお寄せください。

〒960-8601 福島市五老内町3番1号

電話 024-525-3776 FAX 024-534-2520 福島市議会 広報委員会あて

◆市議会ホームページをご覧ください。

<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/gi-soumu/shise/shigikai/>

発行：福島市議会 編集：広報委員会

QRコードから
市議会のHPを
ご覧いただけます。

